

福商会報

FUKUSHO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所／社団法人 福商会 発行責任者／後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092-711-9890 FAX : 092-711-9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol. 147
(2007年1月発行)

慶
壽

上昇の翼新春の陽を乗せて
帰郷の子加えて雑煮ぞうじ祝いけり

現代俳句協会顧問

大山 安太郎(30回生)

写真提供／永島光雄(55回生)さん

年頭のご挨拶

母校と福商会の発展につくす

理事長 山口 毅



新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え皆様には、希望に溢れた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本の景気動向も、戦後最長のいざなぎ景気を超える景気回復が持続しているといわれています。

日本の経済は、急速に進化するIT革命やグローバルな生産システムのネットワークの中で、技術、コスト競争を余儀なくされているわけですが、中でも九州は、経済成長を続ける中国、韓国、タイなど東南アジア諸国、そしてインド、天然資源の豊富な豪州、東アジアとの効率的な経済関係は、ますます親密なものになってきております。

また労働市場の上でも、2007年問題といわれる団塊世代の定年退職が始まり世代交代や、習得された技術の継承が課題になっております。これからの5年先、10年先を考える時、経済や社会の仕組みが変わり、厳しい競争にさらされる面もあるかと考えますが、特に現代の若人にとっては、一層新しいものに対する適応も早いし、個人の努力や能力によって、結果を出せる時代になっていると確信します。

そこで、これからの福翔高校に期待すること大なわけですが、福翔高校卒業生が

地域経済発展のリーダーとして、またアジアに通ずる人材、経済人として活躍する人材となって育ってほしいとの念願を込め、母校発展のため、福商会として応援とその役割を充実していきたいと存じます。

福翔高校では、いち早く進学校としても学習の態勢を整えつつありますが、教職員が熱心な取り組みと、生徒達の向学心が顕著な成果を生み出しています。また昨年4月から導入された駿台予備校と、タイアップしたサテライト教育の推進は、年を経るごとにますます充実し、飛躍できるものと期待いたしております。また、スポーツにしても大学進学にしても個性ある人材が育ってほしいと願っています。

福商会では、110周年の記念事業として福商会110周年記録誌(仮称)の編集に取り掛かっております。このことは、各学年の理事、代議員の方々に、大変お世話をお掛けいたしておりますが、心から感謝申し上げます。完成の暁には、必ずや福商の歴史に輝きをあたえるものになると思っております。

今後とも皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。本年が一段と飛躍の年になりますよう、また皆様のご繁栄とご健康をお祈り申し上げます。

確実な改革の推進を目指して

福翔高等学校 校長 清水 昭男



明けましておめでとうございます。福商会の皆様方におかれましては、2007年(平成19年)のすがすがしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は本校教育の充実発展のため一方ならぬご支援を賜り、誠にありがとうございました。改めて心より御礼申し上げます。

本年も皆様のご支援とご期待にお応えできるよう、学校改革の定着と充実に専心いたします。「改革の定着」とは妙な表現ですが、日々変化する社会の中で遅く生きていく生徒を育てるには、私たち教員も常に自己変革し続けなければなりませんと思っております。改革で何かを変えたことに満足して、その変化した姿にしがみついている、結局は退歩に等しいと考えるからです。改革し続けることを目指します。

ご支援いただきましたサテライト授業も順調に運用しています。更に効果的に活用するため、今後各教科でプロデュースできないかと考えています。

学校生活や部活動においても、その雰囲気や実績において往時の「福商」再興を目指したいと思っております。生徒の元気で

明るさ、ユニークさは今もあります。福商会とPTA、それに学校の三者で回を重ねている懇談会も、更に具体的な提言を頂いて充実させ、このような福翔の良いところをもっと伸ばして、皆があげられ、在校生卒業生はもうろん、働いている我々教職員も誇れる学校にしたいと存じます。本年も福商会の皆様のご支援、ご協力をよろしく、お願い申し上げます。

会員の皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

CONTENTS

新年挨拶.....2

会務報告.....3	トピックス.....10~11
バレーボール部.....4	同窓会だより.....12~15
創部記念大会	同舟往来.....16~17
福翔杯中学.....5	みんなの広場.....18
剣道大会	福商100年史.....19
さくら会バザー.....6	会費納入.....20~21
学園から.....7	企業紹介.....22
プレイバック.....8	広告.....23
恩師シリーズ.....9	

百十周年

記念事業を討議

第4回理事会開催

10月23日、福商会館で第4回の理事会が開催されました。主要議題は前回に続き、100周年記念事業の取り組みについて討議を行いました。

理事からは「同世代の同窓生の活躍を記録として残す必要があるが、一冊の本にまとめるには費用もかかるので、データ程度として残すべきだ」「人の動向と合わせて、卒業当時の時代背景についても記述して欲しい」「後輩へ、自信と誇りを持ってもらうためにも、先輩たちの記録を把握する事は必要だ。福商再生のためにも」など多くの意見が出されました。

結果、「人名リスト」を各回生から提出していただくことについて、確認の議決を行い承認されました。

今後、会員の皆様へ各回生理事から、100周年記念事業の取り組みについてのご協力をお願いがあることと思えます。ご協力をお願いいたします。

議題

- ① 収支報告(4月～9月)について
- ② 100周年記念事業取り組みについて
- ③ 年会費回生別納入状況について
- ④ 4階空調工事報告について

第2回 二者懇談会を開催

福翔改革を話し合う 主体的な学習に工夫 定期受講者に成果

サテライト
講座

第2回の二者懇談会が、10月19日午後6時から福翔高校で開催されました。

学校からは清水昭男校長ほか4名、福商会から山口毅理事長ほか8名が出席し意見交換を行いました。

清水校長から「福翔改革の内容について中学校へ説明していますが、学校の変革に大いなる期待が持たれている」との話があり、次の点について話し合いを行いました。

- ① 生徒自身が主体的に学習を行えるよう授業に工夫と改善を加える
 - ② 教職員の意識改革を行う
- この2点を重点課題として取り組んでおり、学校自己評価を取り入れ、定期

的に進行状況の確認を行っている。また、保護者から見た学校評価など、改革に積極的に取り組んでいる。

二、進研模試(1年生)7月結果報告
特別進学クラスやコース選択を設け、国公立の入学率を高める指導を進めており、特進クラスの平均点偏差値は高い。

三、サテライト講座の活用状況について
定期的に通講している生徒は学習に役立つとのアンケート結果がでている。

部活動をしている生徒は、補習授業と重なることが多く、受講時間の工夫など課題も出ている。

四、部活動成績について(4～9月まで)
放送、書道、演劇、水泳、陸上部などが全国大会に出場。



山口理事長の挨拶

第4回 「福商縦の糸の会」 開催のご案内

日時 平成19年2月9日(金)

第1部 講演会

午後6時～7時

「私の履歴書」

講師 元筑紫野市長

田中 範隆氏(39回生)

第2部

午後7時～9時

会場 八仙閣

5階

住所 福岡市博多区博多

駅東2丁目7-7

会費 6,000円

(81回生まで)

4,000円

(82回生以降)

参加予定者 200名

お問い合わせは福商会事務局まで
092(711)8880



福商バレーボール部創部記念大会開催

男子部80周年、女子部60周年を記念して10月29日、中央区桜坂の「セリナーデ」(オーナー 讃井勝美、56回生)において総会を開きました。福商会より山口毅理事、後藤幹生専務理事、福翔高校より森任一、和田友、中村徹各先生(岡本和幸、井手大輔両先生は試合の為欠席)のご出席をいただき、OB、OGは千葉、神奈川、大阪、香川、山口、熊本、鹿児島等々、遠来組も含めて総数82名、卒業回数も47回生より103回生まで実に年齢差56歳という老若男女の集まりでした。

複数部を掛けもち

西田雄さん(47回生)は昭和24年第一回西日本大会優勝時の主将の挨拶に始まり、ご来賓の祝辞そして女子部一期生の堀内信子さん(48回生)の乾杯の音頭で祝宴に入りました。昭和23年戦後の混乱の続く中、女子バレー部の発足、しかし部活動に入部する女子生徒は少なく、複数の部を掛け持ちで試合に出場したという女子部誕生の逸話を披露されました。その女子部も昭和29年「三人娘」旧姓有吉、二宮、山下(55回生)の入部の頃より本格的に活動され、現在に至っています。

その間、昭和44年、51年に県大会3位に入る成績を残し、現在でも県大会出場常連校として安定した成績を残しております。

創部2年で優勝

男子部は昭和3年千代松原校舎の時代に、ボールがわりに松の木にネットを張

年齢差を越え歓談



創部80周年(男子)、60周年(女子)を祝うOB・OGの皆さん

り、俄つくりのコートで練習したのが始まりです。そして翌4年、第一回福岡日日新聞社(現西日本新聞社)主催の大会で早くも優勝、他の大会でも優勝するなど華々しい船出をし、昭和8年(31回生)に全国大会準優勝をはじめ、数々の好成績を残しております。しかし昭和23年第一

回西日本大会に優勝(47回生)し、黄金期再来と思われましたが、以後僅かに昭和42年(66回生)の九州大会第3位があるくらいです。

しかし創部以来、700名を超えるOBの中にも、学生または社会人のチームに入って活躍された人も多く、特筆すべき

は佐々木義明さん(旧松永、47回生)の活躍です。同氏は「住友金属小倉のエース」として国内大会での幾多の優勝はもちろんのこと、国際大会でも全日本のエースとして出場され、昭和33年のアジア大会でも優勝される等、輝かしい成績をあげておられます。

年代を越え和やかに

今回、久しぶりの総会で卒業以来、同級生はもちろん上級、下級生と初めて会うという人も多く、懐かしさ一杯、一瞬にして全員が「青春フレイバック」。苦しかった、楽しかった、悔しかった事など思い出を語り、時代を超えて和気あいあいと話せるのも、創部以来の長い歴史の中で培われ、受け継がれた伝統「福商バレーボール部のDNA」かなと、感じられた総会でした。最後に松野春夫さん(55回生)の提案により数人の世話人をお願いし、組織規約等を再構築し、更なるバレーボール部としての活躍発展を確認して閉会となりました。

※未だ「福商バレーボール部」を卒業しない男の「OB頼末記」でした。

宮崎陽一(56回生)

バレーボール部OB会から奨学金英基金へ寄付

10月29日、バレーボール部創部記念大会が開かれ、OB会の皆様から寄付がありました。皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。

福翔杯中学校剣道大会

52校78チームが参加

10月28日(土)に平成18年度福翔杯中学校剣道大会が開催されました。

この大会は、昨年開催しました福翔(旧福商剣道部)剣道部創部百周年記念中学校剣道大会に各方面からの好評を得、また、大会継続のご要望やご意見をいただき、福商剣友会で検討した結果、毎年一回の大会を実施することとなりました。

今年大会は福翔高校体育館で、福岡市及び近郊市町村の中学校52校から78チームが参加し、昨年を上回る大会となり、今回は北九州市から3校、佐賀県から1校の遠来組の参加もありました。

開会式では福商剣友会会長川原英之、福商会山口毅理事長の挨拶に続き、福翔高校清水昭男校長から「中学生剣士諸君！是非、福翔高校剣道部へ入り、10回目の玉竜旗優勝をいっしょに目指そう!!」との熱い言葉があり、試合開始となりました。

今年大会では約546名の選手、それに監督、保護者を入れると1000名以上の方々、福翔高校に来校され体育館で熱い声援の中、熱戦が繰り広げられ、栄えある優勝を勝ち取ったのは、北九州市の守恒中学校でした。

なお、この記念大会は翌日(10月29日)の西日本新聞朝刊に記事掲載されました。最後に、今大会を実施するにあたり、福

翔高校をはじめご協力いただきました皆様、心から感謝申し上げます。

福商剣友会 跡部宗教(79回生)



開会式



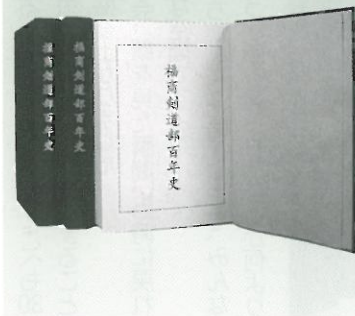
熱戦!!

平成18年度 福翔杯中学校剣道大会の成績は次のとおりです。

- 優勝 北九州市立守恒中学校A
- 準優勝 宗像市立玄海中学校
- 三位 福岡市立老司中学校
- 三位 福岡市立春日中学校A



「福商剣道部百年史」を発刊



平成17年に剣道部創部百周年を迎え、これを記念し10月に「福商剣道部百年史」が発刊されました。

お問い合わせは

福商剣友会事務局 跡部まで



福翔ソフト部OG会開催

平成16年にOG会を発定し、毎年11月23日に福翔ソフト部を育てる会(旧後援会)総会とともに交流戦を行っています。

今年も11月23日に総会が行われました。OGの参加は12名と少なく、雨天のためソフトボールはできませんでしたが、先生のご配慮により体育館にてバレーボールをし、現役生徒と楽しく汗をかきました。

その後、セミナーハウスで総会、会食。初代監督の川勝先生や上山先生も参加され、楽しい一日を過ごすことができました。これからも福翔ソフト部の発展のために、OGの親睦を深め活動していきたいと思っております。

福翔ソフト部OG会 大神 智香子 (83回生)



「さくら会・バザー」を盛大に開催

10月29日(日)に福商会館の2階フロアを貸切つて「さくら会」周年イベントバザーまつりが盛大に開催されました。さくら会メンバー26名が、前日からの会場の飾り付けや同窓生皆様からの提供商品の展示などで大忙しでした。

当日は100名を超える同窓生の皆さんが会場に足を運んでいただき、売上金も16万円を超え、メンバー一同深く感謝しております。このうちの収益金を福商会奨学金英基金へ寄付させていただきました。会員皆様の温かいご支援、本当にありがとうございました。

本年もメンバー一同、皆さんとともに「福商・福翔 OB会つてナニ？」をテーマに多くのOBの方々に出席する機会をさくら会から発信していきたいと思っています。また、本会の活動について詳しい



さくら会メンバーの皆さん

ことを知りたい方は事務局までお問い合わせください。

「さくら会」事務局

TEL:092(771)99990

さくら会会長 平田哲子(64回生)

82回生 学年同窓会 開催される

去る10月1日、待ちに待った82回生学年同窓会が日本浪漫座(中央区舞鶴)で盛大に開かれました。

先生方4名、福商会事務局長を来賓に迎え、卒業生およそ100名の出席があり、懐かしい顔が集まりました。

当日早朝には雨が降り、少々心配しましたが、かえって小中学校、地域の運動会などで欠席予定の方が来られたりしてほっとしました。

最初はクラスごとに着席していただいていたのですが、時間の経過とともに会場が混然一体となり、女性が多いのも手伝って和やかない感じの空気に包まれていきました。

来賓、そして来年の全国合同同窓大会の幹事を担う実行委員長の挨拶があり、それまで合同同窓大会に気づかなかった同級生の顔にも「そだった」と気を引き締める場面もありました。

楽しい時間はあっという間に過ぎるので、3時間の予定ですすめた同窓会を

実行委員長の博多手一本で締めた後、二次会へ。

二次会へは50名以上の出席があり、その上、一次会に間に合わなかった数名が合流。すでにある程度お酒も入り、口も滑らかになったみんなはさらにパワーアップ。話に、飲みにとビッチが上がっていきました。

となると、当然三次会へ。そこへも30名近くが流れ、みんなの話は留まることを知らず盛り上がりました。

同窓会。顔を見た瞬間、当時に戻れる不思議な空間ですよね。

私たち準備した者にとつて、みんなの楽しそうな顔を見られたことが何よりも



82回生学年同窓会の皆さん

嬉しいことです。

また来年の全国合同同窓大会へ向けてもこれだけ多くの同級生が集まってくれる「そんな力をもらいましたし、きつと合同同窓大会も成功すると感じました。この会報が届く頃には合同同窓大会の準備が本格始動していると思います。

先輩、後輩のみなさま、楽しい合同同窓大会にしよう、実行委員長を先頭に精いっぱい頑張ってくださいませ。どうぞご協力のほどよろしく願います。

そして、82回生のみんな、盛り上がっていきませう。



松石竜治

平成19年度 全国合同同窓大会のお知らせ

- 日時 平成19年6月3日(日)
午後3時30分から
- 会場 ホテルニューオータニ博多
- 会費 6,000円



体育部・文化部の主な成績

平成18年9月～11月 県大会出場以上



体育部

■陸上競技部

【陸上新人戦県大会】

谷 美枝	走高跳	1位
山部倫太郎	走幅跳	7位
松本晃司	110mハードル	5位
東 拓也	三段跳	7位
松尾佐希子	走幅跳	8位

【全九州新人陸上競技大会】

谷 美枝	走高跳	1位
------	-----	----

■水泳部

【福岡県高等学校選手権新人水泳競技大会】

川崎仁雅	50m自由形	5位
	100m自由形	2位
伊藤隆多郎	50m自由形	6位
下大迫美恵	100m背泳	3位
	200m背泳	3位
大長千恵	100m背泳	6位
	200m背泳	5位
谷口実雅子	50m自由形	1位
	100m自由形	2位
小島美恵子	50m自由形	6位
	100m自由形	4位

川崎、那須、伊藤、箕輪	男子400mフリーリレー	8位
-------------	--------------	----

小島、下大迫、小柳、谷口	女子400mフリーリレー	2位
--------------	--------------	----

小柳舞	200m平泳	6位
-----	--------	----

下大迫、小柳、谷口、小島	女子400mメドレーリレー	2位
--------------	---------------	----

女子団体総合		3位
--------	--	----

■サッカー部

(女子)

【福岡県女子サッカー選手権大会】

福翔 0-1 福岡女学院

【福岡県女子サッカーリーグ】

福翔 0-1 春日イーグルス

福翔 0-7 福岡女学院

(男子)

【全国サッカー選手権大会福岡県予選】

1回戦 福翔 4-5 直方

■バレーボール部

【新人大大会県大会】

女子 福翔 1-2 久留米商業

■ソフトボール部

【新人大大会県大会】

1回戦 福翔 0-7 九州女子

■卓球部

【新人大大会県大会】

女子団体 1回戦 福翔 1-3 小倉西

女子個人 2回戦敗退 仲野ゆかり

■ソフトテニス部

【新人大大会県大会】

1回戦敗退 奥村・児玉組

文化部

■書道部

【第21回高文連総合文化祭 書道部門】

庄司恵恋 優秀賞 一全国大会出場

岡村純江 特選

■放送部

【平成18年度福岡県総合文化祭 高校放送コンテスト大会】

ラジオ番組部門 第4位

濱崎あかね 貝屋めぐみ 川本沙織 桐田理子

九州大会出場

■美術部

【福岡県高文連総合文化祭】

美術工芸展 工芸部門

角田友理子 特選

■演劇部

【第21回福岡県高文連総合文化祭】

演劇部門 優良賞・舞台美術賞

〈表紙〉

書は書道部の林 麻希さん(3年)

一全国大会2年連続出場



保護者・奨学生のみなさん



後藤専務理事の挨拶



平成18年度奨学生給付説明会開く
 9月25日、福翔高校の奨学育英事業として、毎年実施している奨学生への奨学金給付説明会が開かれました。福商会からは後藤専務理事、川瀧事務長、母校から清水校長、宇土・中山両教頭、森副総務らが出席しました。

奨学生31名と保護者が出席するなか、後藤専務理事から「この奨学育英事業は同窓生の会費、寄付金などにより運営されており、母校の発展を願う同窓生の熱い気持ちによるものです。また、皆さんが学業、部活動に活躍できる環境づくりにも支援していきたいと思っています。これからの飛躍を大いに期待しています」と挨拶がありました。

清水校長からは「勢いある学校づくりを目指しており、皆さんがその中心となって勢いのある生徒として頑張ってくださいと願っています。また、奨学生として自覚ある行動をとり、他の生徒の模範となってください」との言葉がありました。

福商柔道部の思い出

筑紫 仁 (57回生)



Playback

青春プレイバック 7

未曾有の敗戦から11年、日本経済復興中の昭和31年4月桜花爛漫の下、福岡商業に入学した。数日たったある日、柔道部監督の井上光先生に声をかけられ柔道部に入学した。入学したのはよいが、同学年には中学時代、福岡市内はもろろん県内でも名を馳せた門田、九十九、高木ら実力者がいた。当時、私の実力は彼等から数段劣っていた。

腹で顔を押しさえ込み

福商柔道部が戦前の大正15年、現在の金鷲旗柔道大会で優勝をした名門の部であることは後で知った。そして柔道の一生の師であり尊敬する井上光先生を知った。

稽古は厳しく、1年生の実力者、門田、九十九は毎日、光先生に鍛われていた。また、稽古終了後の道場3周のつなぎ跳びもきつかった。

光先生は、国士舘大学出身の国語の先生で、少々お腹が出ていた。稽古中に毛の生えた腹で顔を押しさえつけられ、苦しかったことは今でも忘れられない思い出である。

九州近県大会で3位

私が真剣に稽古に取り組みだしたのは、2年生からだっと思った。1年後輩に素晴らしい実力と素質を兼ね備えた者が多数入ってきた。上杉、蛭間、平岡、八塚等である。光先生も我々以上に期待されてい



後列 左から：(四)梅津 (副)九十九 (補)上杉
前列 左から：(中)高木 (大)門田 (補)鶴田 (先)石橋 (現姓筑紫)

たよつであるが、残念ながらリタイア組が出た。稽古は真剣で、皆強くなっていた。春、夏には1週間の合宿訓練が実施された。春の合宿は寒く(当時はよく雪が積もっていた)道場横の部屋で子犬のように皆くっついて寝たものである。夏合宿は蚊がわんさと襲ってきた。ある日高木がパチパチ蚊を手で叩いて湯のみに入れていたら、湯のみいっぱいになったことを覚えていいる。道場に蚊帳を張り、蚊帳が飛ばないように鉄アレイでさえしていた。合宿中、午後からの稽古は太

陽がさんさんと降りそそぐ中、学校から東公園の警察体育館まで往復徒歩で通ったものだ。また、合宿には福大の篠原先輩(54回生)と一緒に泊まられて共に汗を流されていた。春の合宿が終わると、こそ一

つと一晚花札合宿をする豪の者もいた。厳しい稽古の明け暮れで、机に向かえば居眠りばかりであったが、みな何とか卒業できた。

幸いに3年生になると実力がついてきた。稽古よりも試合のほうが楽しかった。そして、夏の九州近県高校柔道大会(金鷲旗高校柔道大会の前身)では、皆思うような活躍が出来たと思う。結果は3位と優勝こそ出来なかったが、光先生も少しは満足されたのではないかと思っている。また、試合中は福岡会館に泊らせていただき、戦前優勝をされた先輩方も応援に駆けつけられ喜ばれたことを思い出す。我々の時から数年、福商柔道部はベスト8に入っていたが後が続かなかった。後輩では江口(60回生)が、日大に進み東京オリンピックの日本代表候補選手に選ばれ全米選手権を獲得している。現在8段。

今だから話せる

卒業式が終わると光先生の自宅に、3年生全員がお招きを受け、馳走になった。今だから話せるが光先生は下戸のため、お燗つけ役であったことも忘れられない。門田と私は幸いに現在まで柔道に携わることが出来た。これもひとえに光先生のおかげと感謝している。残念ながら故人となられた光先生のご冥福を祈りつつ、今後、柔道部に対する学校当局のご理解と後輩諸君の奮起を促したい。

準決勝

みごと 三年計画実る	
○×●○●○●○	久留米商(今)
高古山山八八	笠
橋賀口口導導	大倉商(今)
大引大外大外	大外
内分巻込勢し	勢上
門九十九	梅石
田九十九	津橋
●×○●○●○●	杉商

S33.7.24
西日本新聞朝刊より

福商野球部の思い出



元福岡商業高校教諭

大田 淳之助

(昭和28年5月〜平成2年3月在職)

私は野多目校舎に移転後の昭和41年から53年まで野球部に所属し、後半は県高校野球連盟の運営にも携わりました。

頑張る部員が好き

当時は、グラウンドコンディションも悪く、監督にも恵まれず、資金面にも制約を受け、用具や備品は不足。部員数も減る傾向にあり、野球部を取り巻く環境は厳しいものがありました。教師にも野球の経験者不在で、部員は自主トレーニングが多かったと思います。純真な気持ちで精いっぱい猛練習に耐えて頑張っている部員が好きでした。

ズブの素人が何ができるのか、ためらいもありましたが、春の甲子園出場4回、国体で優勝した野球の名門、博多工監督佐藤先生の助言にすぎり、後押しされての出発でした。昭和44年、福商専務理事伊沢瞭氏(20回生)のご尽力で、後援会(21回生の渡辺久吉会長)を設立することができました。早速、吉武コーチを招き、上山先生(22代校長)の監督就任とともに指導体制が確立されることとなりました。中学校訪問は私の日課でした。市内近郊ほとんどの中学校に選手の実験をお願いしました。次第に野球経験者の入部は増えたのですが、経験のない入部希望者が減ったりして苦労しました。昭和48

年、後援会も福商OB会として再編、会長に津上龍一氏(38回生)、事務局長に金子義定氏(66回生、元市議)が選出され、10

1名の会員を擁する組織となりました。この年、野球部OBの市原監督(63回生)誕生、コーチに元鳥栖商の柴田監督を迎え、昭和51年には渡り先生(現博多工業高校校長)がコーチに、53年監督に就任。

女子マネージャー誕生

昭和44年(白垣主将・68回生)は近年にない好チームと評価も高く、博多工、福岡第一、西短付との戦績は互角。期待が大きかっただけに、夏の一回戦敗退は悔しかった。この年、初代女子マネージャーが誕生。安徳和子さん(68回生)・高野千恵子さん



70周年に披露された野球部旗、部歌は当時の応援団長寺崎氏の提供、揮毫は上山監督、初代マネージャー安徳・高野さん、中央吉田CAP、右端上山監督

(68回生)は遠距離通学で、野球好き。高校野球との出会いで本当の感動を知ったという。昭和47年(高山主将・71回生)は部員9名での新チーム。新入生の入部で、

ことなきを得ました。一回戦明善と対戦、難波投手が完封勝ち。二回戦シード久留米工をノーヒットに抑え、2対1とリードしていたが、9回裏守備が乱れ、県大会出場を前に涙をのんだ。戦力の向上とともに、近県高校野球大会に招待されることが多くなりました。昭和48年秋(江口主将・73回生)、甲子園大会優勝の広島商島山部長を招き、本校の試合を観戦して頂き、旅館で生徒と共に講習を聞き感激したものです。昭和53年(筒井主将・77回生)、二年生の好投手栗原(78回生)に期待が集まり、春の選抜南部予選準々決勝進出の余勢を駆って、夏の予選に突入したが、一回戦で敗退、勝つことへの難しさを知らされました。

今後の発展を祈る

昭和40年代から50年初頭、私の在任中、成績は一進一退、甲子園予選一回戦の壁は破れませんでした。同じ気持ちでグラウンドに血と汗を流した福商野球部の同志であったことが、何ものにもかえがたい尊い宝物となつて残っています。負けても勝つても常に大声で応援して頂いた木道武人君(56回生)に心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、福商野球部に寄せられました物心両面のご支援ありがとうございました。福商野球部のますますのご発展を祈ります。

私と大田淳之助

元福商野球部部长

野口嘉孝 (73回生)

まず私は野球があまり好きではなかったのです。

ではなぜ3年間続けて来られたのか思い出すと、それには大切な球友とのつながり、また迷惑ばかりかけてきた恩師とのつながりがあったからだと思います。

入部して辛い辛い練習の日々、合宿の時、諸先輩が来られ、猛特訓に耐え、いざ試合になるともちろんベンチの日々。野球の下手な私をずっと見守ってくれたのが、大田淳之助部長だったと思います。

3年になり、もう何試合かしか残されていない大切な試合。ピンチヒッターとして監督から指名があったとき、私は嫌な顔をしたと思います。いきなり監督から平手打ちされました。「気合いを入れんか」「それもベンチの真ん前だったのです。」

その時ベンチの奥の方に目をやると、大田部長がほほ笑んで私を見てくださった。いいではありませんか。「よし、あのほほ笑みに応えるぞ!!」と打席へ。「気合を入れるぞ」がしかし「やっぱり三振」。でもほほ笑みでベンチに迎えて頂き、何となく心の寄り所があったような気がします。

大田淳之助先生ありがとうございました。

中国の砂漠化阻止に挑む

発展途上国の農業開発や環境保全を支援する非政府組織(NGO)「オイスカ」の専門家としてフィリピンで植林活動を行ってきた粕屋町出身の池田広志さんが、9月から中国・内モンゴル自治区の砂漠化阻止に挑んでいる。同地区にまもなく完成するオイスカの研修センターを拠点に活動しながら、九州にも飛来する黄砂問題の解決を目指す。



九州の黄砂解決にも期待

NGOの池田広志さん(57回生)

池田さんは1977年、フィリピンのミンダナオ島に緑化の専門家として派遣され、島の山や海辺で植林を成功させた実績がある。内モンゴルでは、日本の三分の二ほどの面積があるアラル地区で活動。アラルは、遊牧や工業化の影響によって全土の96%が砂漠化しているため、黄砂の原因にもなっている。

このため、池田さんを中心にオイスカの研究チームが、現地にて樹木「ソウソウ」などを植林。他の研究機関の協力も得て、粘土の団子に種子を混ぜて空中散布する計画もある。

「砂漠化する前の光景を取り戻したい」と池田さん。10月に完成する研修センターは、地元をはじめ日本の大学関係者の「足場」としても活用する方針。それぞれの機関が砂漠化に歯止めをかけるために研究を行う。

内モンゴルの植林活動参加者を募集!!

また、植林活動は一般にも広く公募しており、10月12日には第一回派遣団が現地入りする。池田さんは「砂漠では水や人命の大切さを痛感する。人間形成の教育の場としても最適で、人生に希望を失ったような人にも来てもらいたい。黄砂の被害が大きい九州人が立ち上がる」と訴えている。

植林活動参加の問い合わせは

オイスカ西日本研修センター
Oisaka(0003)03011

2006年10月6日付

西日本新聞より転載

平成18年度

市民文化活動功労賞を受賞

博多仁和加振興会

平成18年度の第13回「福岡市民文化活動功労賞」に古田鷹治さん(42回生)が会長を務める博多仁和加振興会が受賞しました。

同振興会は、昭和32年に当時の奥村福岡市長が初代会長として設立され、平成14年3月、長年にわたる博多仁和加の正しい継承・保存・発展への取り組みが認められ、市無形民俗文化財に指定されています。

市民文化活動功労賞とは

市民文化を育てる諸活動に努め、潤いのあるまちづくりに貢献し、特にその功績が顕著な個人・団体に贈られます。

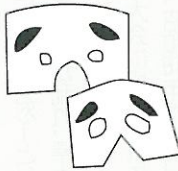
*平成18年10月15日「ぶくおか市政だより」から抜粋。

恭賀新年

本年は十一支を締めくくる多様な漲る精気、清新のふるさと

福岡・博多そして日本を
希求して止まない

同舟健児のご健斗を祈る



亥年

今年しや亥年しやけん
何か何でも猪突猛進で頑張るケン
よろしく頼みますバイ
よかよか、その意気ど頑張りヤイ
ばってん、あんまり無理して五体ば
こわさんごと、気は(ヤルキバ)つけや
い

景気

今年も、景気のますます良うなるごと
と、笠崎宮やら榎田神社やらイチヤー
んと語ってお願いとかなバイ
うん分かってるお語りしてヒールは
献納させてもらおうと思ってる
わー、そらあよか心掛け、うんならお
宮いお語りすることじゃけん、3ヶ
ス(参詣)あげときない

福商精神

俺はねー、卒業してこの方福商精神
の「熱意気力」ば正時も忘れたこと
一なかやねー
そーや、俺もそつタイ、大体福商卒業
生なら、みんなその気持ちは忘れん
で持つこと(マッケー)

母校の繁栄を祈る

博多仁和加振興会会長

古田鷹治(42回生)



各組優勝者のみなさん



草場健二氏 河村準二氏 永田利明氏

秋晴れのもと81名参加、3組に分かれ技競う
 絶好のゴルフ日和の秋晴れのもと、9月26日にザクインズヒルゴルフクラブで第37回福商会ゴルフ大会が開催されました。当日はゴルフを愛好する81名の同窓生が集い、先輩方の元気はつらつなプレーや後輩たち(81、82回生)のお手伝いなど和やかな中、タテ、ヨコの交流を深めました。
 競技は松組(53回生まで)、竹組(54、57回生)、梅組(58回生以降)に分かれ、ゴルフの腕を競い合いました。競技終了後、山口理事長の挨拶に続き、各組の成績発表があり表彰式が行われました。今大会の実施にあたり、同窓生各位から沢山の賞品提供があり、ご協賛いただきました皆様、最後に厚くお礼申し上げます。
 最後に実行委員長の小嶋康博さん(59回生)から「来年も同窓生の皆様をお誘

第37回福商会ゴルフ大会

いのうえ、多数ご参加くださいますようお願いいたします」との挨拶があり、古賀政之さん(78回生)から校歌斉唱、最後に福商エールを行いました。
 各組の成績は左記の通りです。

松組

- 優勝 草場 健二(52回生)
 2 藤野 敬一(51回生)
 3 安河内 誠(52回生)
 4 空閑 謙二(50回生)
 5 鈴木 秀夫(50回生)
 6 戸川 博(49回生)
 7 山口 聿(49回生)
 8 田中 正剛(50回生)
 9 池田新太郎(52回生)
 10 吉村 一夫(50回生)

竹組

- 優勝 河村 準二(54回生)
 2 久保 初雄(56回生)
 3 浮田 泰夫(55回生)
 4 満潮 洋(57回生)
 5 松本 忠敬(56回生)
 6 吉村 公良(57回生)
 7 滝 芳宏(57回生)
 8 山下 励三(54回生)
 9 西島 政治(57回生)
 10 原田 説生(54回生)

梅組

- 優勝 永田 利明(63回生)
 2 月見 佳二(70回生)
 3 白木 正助(59回生)
 4 小西 啓介(59回生)
 5 川上 忠幸(80回生)
 6 無津呂 繁憲(78回生)
 7 川瀧 哲雄(63回生)
 8 河野 嘉雄(59回生)
 9 川崎 輝男(58回生)
 10 井上 辰馬(61回生)

第38回福岡市内8高OB野球大会を開催

第38回福岡市内8校のOB野球大会が11月3日、12日の2日間に亘り、春日球場、福翔高校グラウンドで開催されました。本年度は本校が8年に一度の当番校にあたり、球場の確保や試合の運営、試合終了後の表彰式、懇親会と多忙な一日でした。

試合はトーナメント形式で行われ、一回戦は修猷館高OBに18対0と完封勝利、準決勝では強豪大濠高OB相手に、逆転の9対6で勝利しました。決勝は8年ぶり2度目の優勝をかけ、昨年優勝の西南学院高OBと対戦しましたが、惜しくも力尽き、11対2で準優勝に終わりました。OB大会といっても、選手は20歳代(3

人)、30歳代(4人)、40歳代(2人)の年齢別制限がありますが、我がOBチームは40名が参加し、20歳の後輩から最高齢では55歳の先輩も出場し、学生時代では出来なかった方々とのプレーで楽しい一日でした。試合終了後、八仙閣で表彰式懇親会が各校総勢120名の出席で盛大に行われました。秋丸野球部OB会長(58回生)の挨拶に始まり、来賓の福翔高校清水校長の挨拶、乾林と続き、表彰式では優秀選手に野口次郎選手(82回生)が選ばれました。

また、各校監督の紹介では、中山監督(87回生)から母校野球部について力強い抱負を語っていただき、最後に木道先輩



福岡市内 高校OB野球大会

(56回生)の方歳三唱で会を終えました。野球部OBの皆さん！来年も同じ時期に開催されますので、多くのOBの皆様参加をお願いいたします。

OB野球大会参加高校

- 福岡工業、博多工業、大濠高校、修猷館高校、香椎高校、筑紫ヶ丘高校、西南学院高校、福翔高校
 連絡先 野球部OB会事務局 西山

野球部OB会幹事
 栗原 功充(78回生)

同窓会だより

京阪神支部同窓会



11月11日(土)大阪市中央区ホテルザルーテルで18年度支部同窓会を開催しました。

当日は小雨模様の天候にもかかわらず、遠くは埼玉県から片山さん(59回生)三重県から児島さん(66回生)の出席もあり36名の会員が集いました。

倉成支部長の挨拶に始まり、本部の後藤専務理事、福翔高校の清水校長から来賓祝辞をいただきました。福商会の力強い活動状況及び母校の教育方針や活動が

りがよく伝わり、我々卒業してからも一体感を強く抱いたところです。物故会員となられた皆様のご冥福を祈り一同黙祷後、会務報告に移りました。

会計、監査報告後、事務局より支部会則改定、昨年実施したアンケート内容と対応、支部活動助成金の活用状況等を説明報告。本年度も本部より活動助成金の贈呈があり、大変感謝致しています。お陰様で2年前から支部全員(300名強)に支部会員名簿や同窓会記念写真、資料等を送付できるようになり、反響は大きく次回は「是非出席したい」「数十年振りに友人との連絡がとれて良かった」等の声が多数寄せられています。

この数年同窓会出席者、初参加の方も着実に増加しており、支部会員相互の親睦が深まりつつあるものと嬉しく思っています。記念写真撮影後、石井さん(32回生)による乾杯の音頭で待ちにまつた宴になりました。1年振りの同窓会ということもあり、お互いの近況等話に花が咲き、杯も料理も大いにすみました。徳安さん(46回生)から朗々たる見事な詩吟の披露があり、一同聞き惚れました(詩吟歴40年)。会も佳境に入ったところで高田さん(65回生、応援団長)のリードにより、応援歌と校歌を全員思いを込めて力強く合唱しました。

あつという間に楽しい時間も過ぎ閉会となりましたが、お互いの親睦を十分に図ることが出来、充実したひとときでした。19年度11月の同窓会でまた元気な姿で再会出来ることを約し、散会しました。

山口利彦(62回生)

太宰府支部総会

10月21日(土)、太宰府天満宮横の「し栄」に22人が集い、総会及び懇親会を開催しました。吉住敬造支部長(42回生)の挨拶、田代成美さん(36回生)の乾杯で始まり、和やかなひとときを過ごしました。

森住勝さん(42回生)の奇術、山津弘敏さん(71回生)の南京玉すだれの余興でさらに盛り上がりました。椎木弥さん(37回生)のリードで全員が校歌を斉唱し、猪口真郎さん(37回生)の大締めで春の再会を約して別れました。

角倉健司(55回生)

獅々児会(44回生・45回生)同窓会

平成18年度の同窓会を10月20日(毎年10月第3金曜日)に、恩師大山先生、福商会から秋丸副理事長にご出席いただき、福岡市天神の「福新楼」で開催。数年前から椅子席になるといふ幹事の配慮もありました。

今年は私共も喜寿を迎えましたが、年齢と共に年々体調不良を訴える者が増え、またこの1年間に6名の物故者があり、参加者は25名となりました。東京からは田中正博君と福田吉雄君が遠路参加してくれました。

会務報告、黙祷、来賓挨拶、乾杯後の懇親会では、話題は何といつても在学中の学徒動員や予科練志願等々、話も尽きなく

宴もたけなわ。校歌、応援歌や博多祝い唄、博多手一本の後、万歳三唱して、全員健康と来年の再会を約し閉会しました。

前田常喜(45回生)



51回生(昭和28年卒業)合同同窓会

私達51回生は秋も深まり、山の木々は赤や黄色に美しく色づいた平成18年11月10日(金)18時よりセントラルホテルフクオカで、出利葉先生ご夫妻、蔵本先生のご出席をいただき、私達45名(女子9名)は、遠くは神奈川から大田さん(旧姓吉田)が出席され、盛大に行いました。

開宴前に福商会の現状と福商100周

同窓会だより

年記念事業資料提出について説明し、宴会に入りました。食事より福商時代の思い出話に花が咲ぎ、川嶋君(4組)の博多仁和加で会が一段と盛り上がり、あつという間の3時間でした。最後に校歌、応援歌を合唱し、皆さんの健康を折念して万歳三唱で同窓会を閉めました。

19年も11月に予定しています。51回生の皆さん是非参加してください。お待ちしています。

磯山嘉郎



福商51回生同窓会(於ホテルトラル)平成18年11月10日

福商53回生古希の祝い(同窓会)

11月6日、53回生が70歳の古希を迎えたことを祝って、アークホテル博多ロイヤル(中央区天神)にて同窓会を開きました。来賓には、恩師広瀬先生、福商会山口理事長、同後藤専務理事にご出席いただき

きました。

参加者は、関東などの遠方からも馳せ参じてくれて42名を数えました。

会は、神官によるお祓いが行われたあと、5円玉を通した毛糸の首輪をジャンケンで勝ち取っていくゲームやカラオケなどの余興で、楽しいひとときを過ごしました。

最後に、全員で校歌と応援歌を合唱したあと、次の再会を約しながら散会しました。

浦 正明

加藤正俊先生を囲む 3年2組(55回生)クラス会



恩師「加藤先生」をお迎えし、毎年卒業以来一回も欠かさずクラス会を開催していますが、9月9日、天神テラ花万葉で49回目のクラス会を行いました。今回は

先生も含め18人の出席者で、来年は50回目を迎える節目になります。

病欠が年々増える傾向にありますが、これもやむを得ず、お互いに健康である喜びを分かち合い、ワイワイガヤガヤと語り、飲み、歌い、福商時代にタイムスリッし、楽しい思い出づくりができました。最後は校歌、博多手一本で締め来年の再会を誓い合いました。

加藤先生は数学を担当され、また卓球部顧問として「福商卓球部」にあり、と多くの生徒を指導されてこられました。これからもますますお元気で活躍されますよう祈念いたします。

松野 春夫

57回生(昭和34年卒業)合同同窓会

平成18年6月4日の第56回全国合同同窓大会での盛り上がりから、吉村公良理事の首頭で8年振りに思い立ち、毎月各クラスの世話人16名が集まり、半年間に6回の準備会を開き、万全の態勢でセントラルホテルフクオカで開催しました。当日驚いたのは一人の欠席者もなく104名全員(九州以外から13名)が全国から集まってくれたことでした。

司会は後輩の鬼木望根子(79回生)さんの進行で始まりました。来賓に後藤専務理事、清水校長に恩師の広瀬、加藤、帆足、藤井各先生にご出席賜りました。始めに物故者の恩師、山野、井上、西郷小松原、柴田の各先生、同窓生45名計50名に黙祷を捧げました。

開宴中は食事より学生時代の思い出話

で、あちらこちらで笑い声が絶えず、あつという間の2時間半でした。最後に「覚えてるかな?」と言いつながら校歌を歌い、清水君の博多手一本で閉会、クラス別に二次会へと流れました。次回は3年後(平成21年)に卒業50周年を全員元気な姿で再会できることを誓い合いました。

6組 今井勝彦



同窓会だより

「第5回心のゆとりをつくる会」を開催・61回生

秋の空気を満喫

「第5回心のゆとりをつくる会」を10月22日(日)に、「山登りを癒しの湯」のテーマで脊振山系の最西端「十坊山」へ山登り。そして十坊山麓の「まむし温泉」で疲れを癒し、心のゆとりをつくってまいりました。

現役登山家の永野、樋口両君をリーダーとし男性6人、女性5人計11人でGO！ 還暦を通過した私たちがどうが…

日頃の運動不足の身体がもつかわらうか？ 505メートルの山ですが、結構起伏あり、岩ありのそそこの山でした。

身体がギンギシと音を立てるが、そこは福商魂「熱・意気・力」が沁みこんだ全員。途中、まむしの出現で肝を冷やすが、無事登頂に成功「万歳、万歳、万歳」。糸島海岸、唐津海岸の景色と秋のすがすがしい空気を、そして登頂達成感で「にぎりめ



し」が「ウマイ、ウマイ」の歓喜の声。下山後、麓にある「まむし温泉」でゆくりと疲れを癒し、さらに「心のゆとり」を充電。「次の例会でまた」との言葉を交わしながら帰路につきました。

会長 井上辰馬

3年一組(61回生)クラス会



9月16日、17日に、1泊2日のクラス会を、岡山県の鷺羽ハイランドホテルで開催しました。

今回は関東、東海、関西、中国、九州地区より総勢18名が参加し、空中温泉露天風呂で瀬戸大橋を望む美しい景観を眺めながら、ゆつくりくつろいだ後、懇親会に移りました。宴も懐かしい思い出話に話題は尽きず、近況発表やカラオケと時間はアツという間に過ぎ、全員で校歌、応援歌を高らかに歌い、最後に博多手一本で締めのお開きになりました。

2日目は瀬戸大橋観光船で瀬戸内海ク

ルージングを予定していましたが、出発時より懸念していた台風13号が九州へ接近、観光船も欠航になりやむを得ずクルーザーを中止し、3年後の61回生合同同窓会での再会を誓い、朝早めの解散となりました。

阿部 武次

63回生還暦合同同窓会



去る11月3日、青々と晴れ渡る秋空のなか、昭和40年卒159名の同級生は、人生の節目の「ページ」となる還暦同窓会を、セントラルホテルフクオカで開催しました。

当日は各クラスの先生を始めとして、福商会からは山口理事長及び後藤専務理事をお迎えし、首都圏・近畿圏からの遠来の仲間達も多数参加しました。

会場では、卒業以来はじめて再会した人達もいて、各テーブル席は教室ムードで最高！ 途中、生徒時代から現在までの写真をスライドでクラス毎に案内、また愛好家による元気はつらつな「よさこい踊り」も披露され、皆さんに好評を博しました。

楽しい3時間の宴は瞬間に終了し、60歳の生徒達は名残惜しげに散会となり、それぞれ二次・三次会へと足を運んだ同舟達は、次の出逢いを胸に刻み記念の一日を終えることが出来ました。

8組 白浜和樹

福商辰巳会(69回生)代表幹事会

夢のある辰巳会にしようとする運営会議スタート

昨年1月21日に22名の参加で、辰巳会の今後の運営について、学年9クラスを越



同窓会だより

えた3年10組として交流を深めることの話し合いを行いました。8月12日の全体会議では36名の参加を得、辰巳会運営会議メンバーが決定しました。そして11月25日(土)に福商会館会議室で、第1回運営会議を開催し、会の目的、付則、連絡網ほかの承認がありました。

終了後、今後の活動を楽しく展開するための懇親忘年会で盛り上がり、笑いあり、手品ありの夢多き飲み会でした。

7組 善生喜利

70回生学年同窓会



超大型台風13号が福岡を直撃した正にその日、9月17日(日)に天神の福新楼で70回生同窓会を開催しました。(してしまいました!)4カ月前から企画しており、100名以上の参加予定でした。

当日、昼頃には交通機関ストップの情報流れ、欠席の連絡も入って来る中、中止も検討しましたが、出席予定者全員への連絡が不可能な事から、会場予約を30名に減らす無理を聞いてもらい、強行することになりました。

ところが開催時間が近づくにつれて続々と懐かしい顔が現われ、上山、出利葉、時藤、石割の先生方や福商会川瀬事務長も到着され、結局75名もの参加となり幹事一同胸をなでおろしました。

ひと度、会が始まれば、外の荒れ狂う暴風雨のことも忘れて和やかな雰囲気の中で旧交を温めて、大いに盛り上がり(恒例の福商年会費徴収も酔いもあつたので)よう、気前良く払っていました)あつという間の3時間でした。2年に1度開催している学年同窓会ですが、今回は特に思い出に残る会になるでしょう。しかし参加した皆様はどうやって自宅まで帰ったのでしょうか。

1組当番幹事

第44回珠心会

福商珠算部OB会「珠心会」総会を、11月2日(木)、天神テララ4階で22名が参加し開催しました。44年前、先輩方が後輩との絆を深めるために会を発足され、部活動支援や新入卒業生の歓迎会などを開いてきました。

今年は昨年当番の平山さん(81回生)が、新しく2人の同窓生、坂本さん、岩脇さん(各82回生)を連れて来られ、会は大いに盛り上がりました。これからもソコバ

ンを通した珠心会を発展させ、楽しめる総会にしていきたいと思っています。若い方の参加を心からお待ちしています。

会長 善生喜利(69回生)



第1回珠珠会

6月4日の全国合同同窓大会の二次会で発足した珠珠会の運営会議を、11月21日(火)に福商会館会議室で開催しました。山本武(30回生)大先輩を顧問にお迎えし、スローガンの「楽々と気あいあい」の精神で来年の「縦の糸の会」(2月)、「全国合同同窓大会」(6月)の二次会を楽しむ企画を立案しました。どうぞ皆様お楽しみに!

また、会独自の年間活動計画も作成し、



笑いのある、親しまれる「珠珠会」にしていくことで賛同を得ました。場所を変えての懇親会では、お元気な山本顧問の体験話に耳を傾けながら、大いに笑い交流を深めました。

珠珠会メンバー

顧問	山本 武	30回生
発起人	岡口 靖夫	61回生
発起人	内藤 博	61回生
会長	大庭 貞子	55回生
副会長	善生 喜利	69回生
事務局	谷口 政幸	72回生
会計(書記)	宮本 信子	72回生
サポーター	中村 タエ子	61回生
サポーター	木庭 しげ美	73回生
副会長	善生 喜利	69回生

同舟往来

井上 正彦さん(37回生)



昭和15年卒業。西日本新聞社編集局経済部記者として活躍されました。長年、記者として社会や経済を見て来られたことから、いま森林の荒廃や河川の汚染など、自然環境保護の面から、山や川の再生に向けて活動をされています。

最近の取り組みでは西区の飯盛山を多くの市民に親しんでもらおうと、登山道にアジサイを植えたり、緊急避難小屋を整備したり、また子供たちには「カブト虫の飼育教室」「バードウォッチング」「竹細工教室」などを定期的開催されています。今後は「モミジ」を植える計画もあります。これからの取り組みについては西日本新聞などで紹介されています。

現在「飯盛山を愛する会」「室見川再生を考える会」会長として、地域の発展に向け努力されています。

川瀬 哲雄(63回生)

田中 昌夫君(52回生)



糸島の怡土中から初めて福商入学。在学中は柔道部で活躍。卒業後、マツダオート福岡に20年余勤め、40代で脱サラし、高宮に囲碁教室を開

設して約30年になる。

この間、福岡県トップアマ棋士の一人として、朝日十傑戦県優勝2回、毎日日本因坊戦県優勝1回、世界アマ戦、福岡県代表6回など輝かしい記録を残している。

また、彼の教室からは大淵九段、西村宮川八段、松本七段(今年の新人王)など優れたプロ棋士が育っている。

ブラジルの地で亡くなった同級生の池田誠一君も帰国の度に、彼の教えを受けられることを楽しみにしていた。

宮田 信(52回生)

佐藤 毅彦君(63回生)



福商時代は勉強より運動(陸上競技)に力を入れていた。卒業と同時に千代田火災の福岡支店会計課

に勤務。その後、自ら希望し営業へ変わった。ここで福商魂「熱意気力」を存分に発揮し、業績を向上させた。これが認められ東京へ転勤。以降、大阪、名古屋、東京、札幌と主要都市で営業管理を担当。この間、セールスマネジメントに独自の工夫を加えた新しい手法を考案し、販売技法と販売管理を指導するスペシャリストとなった。

平成13年、定年と同時に「佐藤人材教育(研)」を立ち上げ、現役時代の経験を活かして、経営システムや教育コンサルティング、

企業研修などの活動を行っている。お互い古希を迎え、人生とはと問うと、人生は魂を磨く道場」との答え。常にプラス思考で、全てに感謝し「ありがたう」の言葉をいつも使っている。

最後に「少年老い易し学成り難し(漢詩)」「老いて学ばば死して朽ちず」と名言を紹介した。

* 現在執筆中の「かぼす」に学んだ、天地自然の理にかなった経営と人間の生き方：乞うご期待!!

白石 誠一(53回生)

山口 忠義君(54回生)



福岡市東区多々良にて、旅行幹旋業(有)サン・ツーリストを経営している。

昭和三十一年卒業。在学中は柔道部で活躍。卒業後、(株)日本旅行に入社し旅行業一筋に勤務。

国内外の添乗勤務、国内主要拠点の支店長業務など旅行業に関わるすべてを熟知経験した後、定年を前に一時オリックス・レンタカーに出向したが、定年退職後、一念発起。(有)サン・ツーリストを設立。現在繁忙中。

明朗闊達、開放的な人柄で世話好きでもあり、同窓会等の名幹事である。福商会理事も経験し、その言行に同期生間で全幅の信頼を置かれている。

趣味はゴルフ。福商会ゴルフ会の常連でもある。

三橋 國博(54回生)

西野 勇男君(57回生)



福商在学中は戦後最強の年であろうといわれた柔道部に属し活躍(昭和33年金鷲旗大会3位)。卒業後も柔道部OB会のメンバーとして、後輩たちの面倒をみてきています。また学年クラスの世話役として欠く事の出来ない人物でもあります。

特に現在の57回生代表の理事吉村公良君が東京転勤の際は、彼がクラス幹事を引き受けてくれ、その後長きにわたりクラスをまとめてくれました。吉村君が帰福し理事を引き受ける時「西野君が良く面倒見てくれたから恩返しのためです。このような見事なチームワーク、バトンタッチで、去る11月17日行われた57回生合同同窓会が盛会裏に終了した要因だと思えます。

彼は家業の三国屋(株)の専務取締役、また福岡市すし商組合組合長と、業界のとりまとめ役として、各方面での活躍は衆目の一致するところです。

鶴田 四男美(57回生)

中森 昭子さん(59回生)



ふたりの、お子さん達が中学生になった時、旅行社へ勤めるようになった彼女は、母親の役目も大切に考え、お子さんが学校から帰宅する時間には、家に戻っている事を条件に、主婦業から一歩飛び出し、

パートとして社会に出たそうです。

その後、正社員として平成3年には、JTB代理店でトラベルルックの代表取締役役に就任。福商魂というか、ただただ責任感だけで、何とかこれまでやって来たとのこと。25年前は何台もの貸し切りバスで、温泉旅行が定番だった慰安旅行も時代の流れと共に減少し、ここ数年は小グループ化で、今や個性化の旅行形態になつてきているようです。あらゆる情報があり、若者はネットワークを利用し独自のプランを立てる、そんな中でお客様との対話を尊重し、女性ならではの、きめ細かな気配りを業務に行き届かせておられるのです。サービス精神大で「利益も薄く経営者としては失格ね」と苦笑しながらも、感動を与え「旅」という夢を売る無形の商品作りに、自らを磨きながら希望を持ってチャレンジしている人です。

これからも健康に気を付けられて益々のご活躍を祈ります。

トラベルルック

電話

羽野恭子(59回生)

土岐 勝君(61回生)



聖粕校舎を巣立つてはや43年。大半の同窓生は現役を引退し、第二の人生を歩んでいます。

しかし、彼はまだ現役で、九州電力のグループ会社「(株)九建」に入社し、現在も常務取締役として活躍中です。九建は九州電力の送電線用鉄塔建設が主業務の会社です。学生時代からよく同級生の相談にのり、親切に世話をしていました。その性格が会社で認められ、現在の彼の地位

を築いたものと思います。

われわれ61回生は高度成長期の中で仕事に励み、酒を飲み、ゴルフや釣りなどに忙しい人生を過ごしてきました。彼には45年以上付き合っている同窓生でもある奥さんが、彼をサポートしてきたことで今日があると思います。これからも奥さんといたわり合せてがんばって下さい。

樋口和雄(61回生)

細田 浩一君(83回生)



在学中は、剣道部に所属。昭和59年の全国大会地区予選、県予選で圧倒的な強さで見事個人優勝。

全国大会に個人で出場するのは21年ぶりの事で、その活躍ぶりは特筆されるものでした。

卒業後、陸上自衛隊に入隊。現在、陸上自衛隊第四科学防護隊に所属し、世界情勢や日本国内の出来事の中で、国際貢献や災害派遣等に、福商剣道部、福岡商業高校の代表として自信を持って胸を張って頑張っている。記憶に新しい出来事では、島原普賢岳災害の時、彼は命がけの救助活動で大活躍した。

彼は、全国自衛隊剣道大会で、平成9、11、13、16年の合計6回の優勝を果たし、平成13、16年は見事大会4連覇を成し遂げた。また、その実績をもって都道府県剣道大会にも出場を果たしている。

跡部宗教(79回生)

私のスランプ脱出法



西嶋 三七男(45回生)

平成18年に喜寿を迎えた。この間、40年余を西日本新聞社で過ごした。入社から約10余年間は速記者として勤務した。新聞社の速記者本来の仕事は、出先から電話で送られてくる原稿を速記し、漢字

かなまじりの文にして、関係各部署に渡すことだった。それ以外にも外部からの依頼や、社内企画された座談会、対談講演会、インタビュー速記に出かけることもあった。

世界的な生物学者オパーリン博士と、大学教授との対談は今も記憶に残っている。対談に入る前に博士と握手したが、博士の大きな、柔らかな、温かい手の感触はいまだに忘れられない。

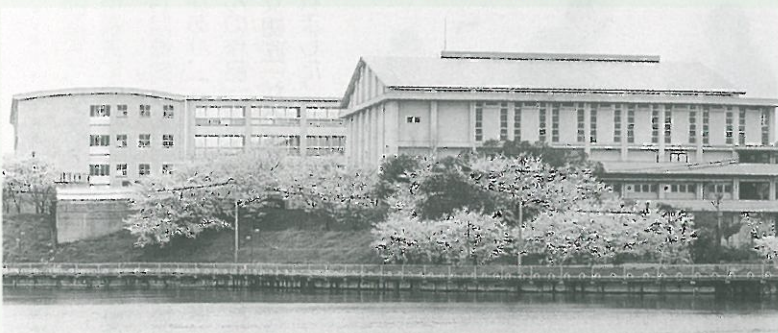
速記を習い始めたのは、旧制福岡商業学校(現福翔高校)時代。速記は先生について習っても、一人前になるのは、くまれ。基本文字から始まり、幾種類もある略符号の作り方まで、覚えることは沢山ある。これらをマスターしたうえ、すらすら書き取るまで習熟するのは大変だ。辛抱が必要だが、努力すれば効果は出てくる。

しかし厄介なことに、人間には好、不調の波がある。不調時には「自分は速記者になる素質がないのではないか」と思ってしまう。かなりの速度にも対応できるようになつても不調時はある。やめた

いと思つたことが何度もあった。ある時ふと思つた。「ジャンプする時、ひざを曲げて姿勢を低くし、次に高くジャンプする。そつだ不調時は、この姿勢を低くしている状態だ。そこで跳び上がる努力をすれば速記力は一層向上するのだ」と気がついた。以後は不調時の苦しみが楽になった。

これは速記に限ったことではないと思

2006年春の福翔高校



福商100年史：⑥ 草創期の卒業生たち（福商の輝く星）

高田 五郎（6回生）



で行われた招待テラスに出場したほどテラス好きで、1907（明治40）年5月の福岡医科大学主催コート開き大会優勝メンバーでもある。福商潮流（西日本新聞社発行）の中で、1972（昭和47）年4月に在校中の思い出を次のように語っている。

テラスばかりやっていた。二度の飯より好きで、近かった福岡医科大学（現九州大学医学部）へ出かけて、白球が見えなくなるまでコートを走り回ったものだ。英語が受け持ち

中牟田喜兵衛（8回生）



1907（明治40）年5月、4代目校長太田徳次郎が久留米から転任してくるとき、校長

ガス事業一筋の道 高田氏 天神繁栄の基盤築く 中牟田氏

だった教頭の菊池武幹さん（後の5代目校長）はロンドンの話が得意。行っちゃあ、ごらんようだったが、私がのちに旅行したとき、先生の話のおりなのびっくりしたよ。福商はね、そこらの学校と違う。単なる商業学校とは見えていませうよ。

1909（明治42）年3月に卒業後、大阪ガスに入社し、その後「電力の鬼」と言われた松永安左衛門が設立した西部合同ガス（現西部ガス）に入り、以来松永を生涯の師と仰ぎ、首都のガス供給復興に全力を捧げるなどガス事業一途の道歩んだ。

宅に下宿していた生徒が転校してきた。その生徒が中牟田喜兵衛（8回生）である。太田校長の「お前も一緒に来い」のひと声になんのためらいもなく同行した。中牟田がもしそのまま久留米に残っていたら、現在の岩田屋デパートの存在もなかったかも知れない。

大正3年に博多の岩田屋呉服店中牟田喜兵衛（初代）の養子になり、後に二代目喜兵衛を襲名した。当時は野原に近い九州電道天神駅（現西鉄福岡駅）に目をつけて、1936（昭和11）年に九州で初めてのターミナルデパートとして岩田屋百貨店を創業し、今日の天神繁栄

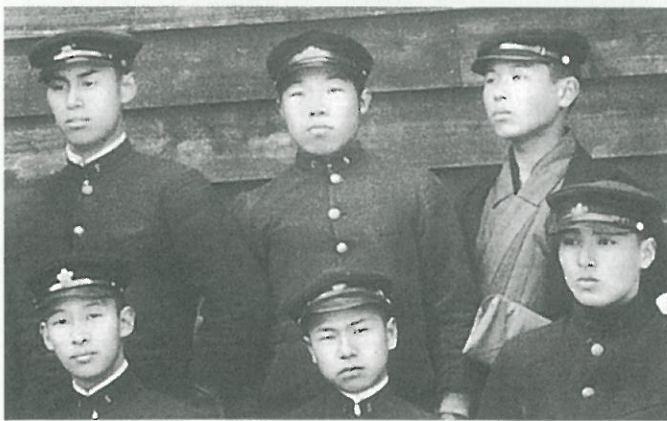
の基礎を築いた一人といえる。

また、同窓生の活動拠点を作るべく現在の福商会館の土地を寄贈し、「社団法人福商会」が1952（昭和27）年に設立されて以来、1980（昭和55）年まで理事長を務めた。中牟田は福商時代のことを「勉強もしたが、運動はもともと好き。ボート、野球、テニス、短距離、水泳となんでもやった」という。後年、80歳を過ぎてもゴルフコースを築々とこなした健康体の源はこの福商時代に培われたといってもいいだろう。



第6回卒業生（明治42年3月）

戦後、東京ガスの社長を務めた高田五郎（6回生）はテラス部で活躍し、初期卒業生の中で最も成功した財界人の一人として挙げられる。高田は3年生のとき修学旅行を返上して門司



在学中の中牟田喜兵衛（後列左）

会費納入者

Table listing members with columns for year (e.g., 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 31年度, 32年度, 33年度, 34年度, 35年度, 36年度, 37年度, 38年度, 39年度, 40年度, 41年度, 42年度, 43年度, 44年度, 45年度, 46年度, 47年度, 48年度, 49年度, 50年度, 51年度, 52年度, 53年度, 54年度, 55年度, 56年度, 57年度, 58年度, 59年度, 60年度, 61年度, 62年度, 63年度, 64年度, 65年度, 66年度, 67年度, 68年度, 69年度, 70年度, 71年度, 72年度, 73年度, 74年度, 75年度, 76年度, 77年度, 78年度, 79年度, 80年度, 81年度, 82年度, 83年度, 84年度, 85年度, 86年度, 87年度, 88年度, 89年度, 90年度, 91年度, 92年度, 93年度, 94年度, 95年度, 96年度, 97年度, 98年度, 99年度, 100年度) and names.

●元気印の企業紹介 GENKI COMPANY vol.7●



地球に優しい 環境開発を実践! 株式会社 吉村産業

吉村 俊之さん(75回生)



今回の「元気印の会社」は(株)吉村産業の吉村俊之氏(75回生)を紹介させていただきます。

吉村さんは福商時代(昭和49年~52年)に剣道部で活躍し、昭和50、51年度玉竜旗高校剣道大会で2年連続優勝を果たし、卒業後、福岡大学へ進み剣道部で副主将として活躍されました。

大学卒業後は、父親が経営する吉村産業(土木・建設業)へ入社。父親と二人三脚で順風満帆な社会人スタートでしたが、就職後2年足らずで父親が他界。まだまだ駆け出しだった吉村さんは、当時は振り返り、こつ語っています。「父親が亡くなった時は、さすがに先が真つ暗になった。どついたらいいのか?どつすればいいのか?...この時、まだ独身で、祖母、母親、弟と妹の5人家族。『どつやつて食べていくか、どつやつて家族を養っていくか?』まさに『窮地』です。落ち込むだけ落ち込み、悩みに悩み、そして、その時期に知り合った女性からの励まし、思いやりを受け、出た答えは、『やるしかない!俺がやるしかない!頑張るのみ!やつてやる!』。窮地:吉村を救った女性が奥様です。「彼女のお陰で、今の俺がある」と今でも常に感謝の気持ちをおぼれない。吉村さんは昔から「気合の吉村」と呼ばれた熱血漢。気力体力で、この『窮地』を乗り切りました。まさに、熱・意気・力の人間です。

地盤改良工には特殊重機が必要ですが、これも2機所有しています。土質・地盤改良工について、興味のある方は下記のホームページを参照してください。また、幾つかの大手企業の協力会役員や理事も務めており、中でも某大手建設会社協力会(全国約6000社)会長を務められたことは有名です。このようなことから、人望の厚さがうかがえます。

最後にもう一つ吉村さんの人柄がわかるエピソードを紹介します。

吉村さんと15歳年の離れた妹さんは、父親が亡くなった当時、まだ小学校低学年。ある日、父親参観日があると知った時、妹さんは困っていた様子だったそうです。それを見て「よかよか心配すんな!兄ちゃんがお父さん代わりでいこちやるけん!なんも心配せんでよかぞ!」最初、照れていた妹さんも、参観当日の授業中、教室の後ろを振り返り、参観に訪れていた父親達の中から兄を見つけ出し、「ニコリと笑顔を返してくれ、その笑顔に救われ、吉村さんの活力になった事は言うまでもありません。

この話を私に聞かせてくれたながら、涙を流され、また私も涙しました。

そんな妹さんも今では一児の母。そして、吉村産業を切り盛りする経理事務担当として兄と会社を支えています。今や吉村産業は「質実剛健」を地で行く、人間味溢れる堅実な経営で、揺ぎない企業となつていきました。

跡部 宗教(79回生)

株式会社 吉村産業

【事業内容】

- ・土質・地盤改良工
- ・一般土木工事
- ・重機造成工事
- ・建造物解体・産業廃棄物収集運搬工
- ・各種碎石・砂販売

〒818-0042 福岡県筑紫野市大字立明寺328
TEL:092-923-2340 FAX:092-925-1652
E-Mail :yoshimura@s-yoshimura.co.jp



BZ200
大量作業で環境に優しい
移動式プラント



BZ120
コンパクトで機動性に
富んだ移動式プラント

www.s-yoshimura.co.jp

NETWORK SYSTEM REMIX Co.,Ltd
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

株式会社 エヌ・エス・エックス

コンピュータネットワークシステム構築等
ホームページ制作・コンサルティング
ホスティングサービス・レンタルサーバー
インターネット・WEBカメラ

代表取締役 **跡部 宗教** (79回生)
ATOBE MUNENORI

福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝真ビル2F
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

Total Support Of Computing

ビューティ・ビジネスの未来を創る。
株式会社 ダリヤ

代表取締役会長
高木 不二男 (60回生)
TAKAKI FUJIO

〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail: f.takaki@net.email.ne.jp
http://www.mmjpo.or.jp/dariya

ミサワエムアルティエー特約店
(有)ヨシイホーム

代表取締役 **吉井 薫** (64回生)

福岡県知事免許(4)第12151号(社)福岡県宅地建物取引業協会会員
〒812-0041 福岡市博多区吉塚1丁目41番9号
TEL 092-621-2840 FAX 092-612-2040

「うまい!」うれしいお礼のことば
きっと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎

代表取締役社長 **山口 毅** (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十三川1-1 電話(092)475-7777

中華料理
和食
海鮮料理

八仙閣

相談役 **増田 稔** (59回生)

福岡市博多区博多駅東2丁目7-7
電話(092)411-4141番

総合建設業一級建築士事務所
株式会社 五成建業

取締役会長 **安河内 馨** (46回生)

東京都世田谷区上馬4の13の19
TEL 03(3418)8151(代)
FAX 03(3424)9418

株式会社 堀江本店

相談役 **堀江 武** (52回生)
代表取締役社長 **堀江 徹** (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL(092)503-0121(代)
FAX(092)504-1219

広告代理店
株式会社 春潮社

取締役社長 **古川 淳二** (63回生)

福岡市博多区千代4-29-12
電話(代表)641-1031番

線香・ローソク・お香・広告マッチ
株式会社 中島晴薫堂

代表取締役 会長 **中島 勝敏** (55回生)

〒812-0044
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055
長崎営業所 諫早市栗門町288番地305号 TEL・FAX0957-21-0675

福岡デー7株式会社

代表取締役 **糸永 清二** (55回生)

福岡市博多区那珂3丁目2-4
TEL 092-411-3929(代)

imai PRINTING

代表取締役社長 **今井 勝彦** (57回生)

今井印刷株式会社

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番18号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する { 総合建設業・木材業
柏屋グループ } 不動産業・アバマン柏屋店
一級建築士事務所
柏屋殖産株式会社

代表取締役会長 **篠原隆義** (54回生)

本社 柏屋郡柏屋町大字仲原2525
電話(代表)621-1331番

有限会社
エステート平野

代表取締役 **平野 俊一** (46回生)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目11番8号
TEL(092)431-5616

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社

代表取締役会長 **渡邊 與三郎** (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話(092)721-4531番

環境にやさしい製品作りをめざしています
印刷の
ご用命は **nip 株式会社 ナガシマ**
ISO14001 認証取得

代表取締役 **永島 光雄** (55回生)
笠木 雄二 (65回生)
本村 智彦 (82回生)

福岡市博多区豊1丁目9-18 TEL482 7751(代) FAX482 7734

伝えたい・残したい物があるとき
一冊の本にしてみませんか!!
お気軽にお電話下さい。

正光印刷株式会社

代表取締役 **藤村 みつ** (53回生)

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号
PHONE:(092)741-3266

倶楽部
萌 since 1999

代表取締役 **長谷 州身子** (81回生)

〒810-0801 福岡市博多区中洲2丁目3-1 中洲Fビル3F
TEL092(262)5577

PROFESSIONAL by
Uratsuka PRO.
www.urapro.jp

代表 **浦塚 健二** (89回生)

本社:〒816-0862 福岡県春日市弥生4丁目61-1
TEL/092-584-8057 FAX/092-584-8079
e-mail/info@urapro.jp
☎ 0120-100-822

営業所 福岡営業所/熊本営業所/大分営業所

福岡温泉 湯の里 湯の里
ホテル 楠水閣 湯の里
WAKITA SPA HOTEL NANSUIKAKU YU NO ZEN

〒822-0133
福岡県宮若市脇田
TEL 0949-54-0123(代)/FAX 0949-54-0198

専務取締役
支配人 **野口 嘉孝** (73回生)

博多人形・博多織・久留米絨
増屋

取締役相談役 **田中 寛** (40回生)
取締役 **高崎 隆** (43回生)

川端本店/博多区上川端商店街 TEL092(281)0083
支店/天神地下街・博多駅名店街店・
モスバーガー薬院店・赤坂店

～玄海の磯の香をそのまゝ直送～
魚村 天神西通り 大名本店
壽司魚村

福岡市中央区大名1-1-45 福岡市中央区天神2-4-19
天神西通り 魚村ビル 天神西通り 第8ラインビル1F
☎ (092) 781-7388 ☎ (092) 711-1182

代表取締役 **日野 孝治** (77回生)

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

奨学育英基金へ寄付

～昨年²⁰²²の全国合同同窓大会当番幹事～

10月23日、全国合同同窓大会の当番幹事を務めた、81回生の原田広海さんと原美穂さんが福商会館を訪れました。

この日は理事会が行われており、山口理事長へ同窓大会の収益金を「奨学育英基金に寄付します」と目録が手渡されました。

81回生の皆様の心温まるご厚志に心から御礼申し上げます。



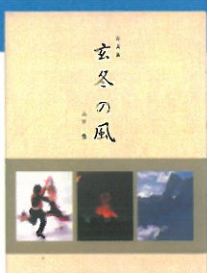
写真集を出しました

山口巒さん(49回生)が写真集「玄冬の風」を発刊されました。山口さんは福岡銀行時代に、北アルプスの山々に感動し、世界の山岳写真や昨年、日本アマチュア秀作美術館に収蔵されたスポーツ写真など、長年にわたって多くの写真を撮り続けてこられ、二科展に入選するなど活躍されています。

写真集では山50点、旅・国内50点、国外50点、スポーツ50点、合計200点を3部に纏められています。福商会報の144号にも表紙を飾らせていただきました。

※ご購入希望の方はお問い合わせください。

山口巒さん宅／電話・FAX: [REDACTED]



本を出しました

本郷平八郎さん(38回生)がこのたび文學の森より句集「綾杉」を出版されました。

俳句との縁は昭和13年に福岡商業の福商俳句会「同人」に入門し、創始、青木月斗師門下の、高橋政夫(金窓)先生との出会いからだそうです。句集の何篇かをご紹介します。

略歴

- 昭和13年 福商俳句会「同人」入門
- 昭和16年 福岡商業卒業、三井物産(株)入社門司支店勤務
- 昭和17年 南方派遣ジャカルタ、スラバヤ支店勤務
- 昭和19年 現地陸軍応召、ジャワ、マレーシアに従軍
- 昭和20年 終戦、レンバン島抑留
- 昭和21年 復員帰国
- 昭和58年 三井物産(株)定年退職

俳号 本郷 草風、 蜂朗
俳人協会会員、福岡俳人協会副会長



月斗句碑に太閤晴れや城若葉
肩打ちし神慮の木の实拾いけり
生きてゆく限りこの道花通路



福商会館2階ホール、ロビーの賃貸について

2階ホールを下記金額で外部にも貸出しております。

	午前	午後	夜間
貸時間	9:00~12:00	12:00~17:00	17:00~21:00
料金	12,600円	21,000円	21,000円

	午前~午後	午後~夜間	一日中
貸時間	9:00~17:00	13:00~21:00	9:00~21:00
料金	29,400円	29,400円	31,500円

※土日・祭日の使用時間は9:00~17:00です。

■2階ロビーは原則的に福商会員のみ^の無料貸出になります。

記事に関するお問い合わせは福商会事務局へ

TEL.092-711-9890 FAX.092-711-9266

編集後記

明けましておめでとうございます。福商会報も装いを新たにしまして、3年目を迎えました。昨年は広報委員3名を加え、計12名の態勢で、会員皆様方に、より親しまれる会報づくりに専念してまいりました。お陰をもちまして会員皆様より励ましのお言葉をいただいているところであります。会報の配布方法の見直しなどにより、会報への関心の高まりや、会費納入へとつながっているものと思えます。

会員相互の連絡、親交は勿論のこと、母校福翔高校への支援としてサテライト講座の導入支援や、奨学育英資金援助など、皆様のご協力により十分に果たすことができました。心から御礼申し上げます。

本年も6月3日(日)の全国合同同窓大会を始めとして、支部、学年、クラス、部活、職場の各同窓会などへ積極的な参加と、会報へのより多くの投稿をお待ちしております。職員一同、皆様の期待に応えるべく頑張っております。会員皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

後藤

先日、僧侶の友人と「禪を聞く会」に出かけてきました。最初にオカリナによる童謡などの演奏が行われ、心が洗われる思いでした。続いて椅子での座禅の組み方の教えがありました。15分程でしたが会場の600名程の聴衆が、その間「しーん」とした静けさに包まれ、その静寂に感動を覚えました。

今、「いじめ」や殺伐とした事件で心の荒廃が言われる中、今年1年、平和で平穏な年でありたいと願うものです。

会員皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

毎号、会費納入につきまして報告をさせていただいておりますが、皆様のご協力により、毎年、会費納入が増えており、心から御礼と感謝申し上げます。回生別納入のなかで、初めて100名を超える会費納入もあり、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。

川瀧